

妙成寺五重塔建立400年記念

# シネマ歌舞伎「鷺娘」上映解説会& 坂東玉三郎トークショー ～美とココロと歌舞伎と～

妙成寺五重塔建立400年を記念して、歌舞伎俳優「坂東玉三郎」氏をお招きし、シネマ歌舞伎「鷺娘」の上映と本人による解説、美しいモノ、ヒト、ココロについてのトークショーを開催。又、氏が非常に好きな“長谷川等伯”についても、妙成寺蔵の作品を交えて語っていただきます。

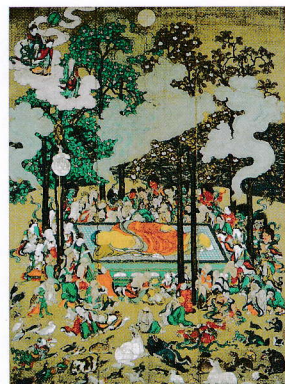


## 坂東玉三郎

1957年12月東横ホール『寺子屋』の小太郎で坂東喜の字を名のり初舞台。1964年6月十四代目守田勘弥の養子となり、歌舞伎座『心中刃は氷の朔日』のおたまほかで五代目坂東玉三郎を襲名。泉鏡花の唯美的な世界の舞台化にも意欲的で、代表作の『天守物語』をはじめ数々の優れた舞台を創りあげてきた。また歌舞伎の枠を超えて、世界の芸術家まで大きな影響を与え、賞賛を得てきた。若くしてニューヨークのメトロポリタン歌劇場に招聘されて『鷺娘』を踊って絶賛されたのをはじめ、アンジェイ・ワイダやダニエル・シュミット、ヨーヨー・マなど世界の超一流の芸術家たちと多彩なコラボレーションを展開し、国際的に活躍。映画監督としても独自の映像美を創造。2012年9月に、歌舞伎女方として5人目となる重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定、また2013年にはフランス芸術文化章最高章「コマンドゥール」を受章した。

## シネマ歌舞伎「鷺娘」

歌舞伎の舞台をHD高性能カメラで撮影し、デジタル上映する人気シリーズ。しんと雪の降る水辺の柳の下に、蛇の目傘を差した白無垢の娘がひとり佇んでいる。娘と見たのは、実は白鷺の精(坂東玉三郎)。やがて、鷺の精は美しい町娘に転じ、その恋心を様々に見せていく。だが、その想いは叶うことなく、再び鷺の姿となった娘は地獄の責め苦に苛まれ、いつしか倒れ伏してしまうのであった。



## 長谷川等伯と妙成寺

妙成寺は、七尾生まれの画聖・長谷川等伯の若い頃、すなわち長谷川信春の落款(印鑑)のある、二幅の画像を所蔵しています。「日乗上人 画像 絹本 著色 一幅」と「仏涅槃図 絹元著色一幅」です。いずれも石川県指定有形文化財で、現在、石川県七尾美術館に寄託されています。

【主催】日蓮宗本山 妙成寺 【共催】ケイ・シー・エス  
【後援】小松市 北國新聞社 テレビ金沢 北陸放送 エフエム石川 ラジオかなざわ  
ラジオななお ラジオこまつ 金沢ケーブルテレビネット 能越ケーブルネット  
松竹エンタテインメント

【お問い合わせ】ケイ・シー・エス TEL 076-224-4141

